

# 森林やまがた

No. 51

2001 6月



緑の募金：「山形市」



第53回全国植樹祭

感じていますか 森があるしあわせ

## 目次

|                              |                                       |
|------------------------------|---------------------------------------|
| 緑の募金：「山形市」…………… 1            | 現地ルポ 木に新しい生命を吹き込む<br>寺崎バイオリン工房…………… 7 |
| 整備進む式典会場<br>（「遊学の森」有屋ゾーン）… 2 | 商品性のあるきのこ<br>生産に向けて…………… 8            |
| 全国林業者大会山形県<br>実行委員会が設立される… 3 | 平成13年1月発生<br>雪害状況と復旧対策…………… 9         |
| ふもとっ子いきいき緑体験学習… 4            | 山形県の名水・湧水……………10                      |
| 森林の楽しみ<br>早春のブナ林から…………… 5    | 山形県の古木・名木……………10                      |
| 山に遊ぶ<br>—森林オーナーの楽しみ—… 6      | 木材市況……………12                           |

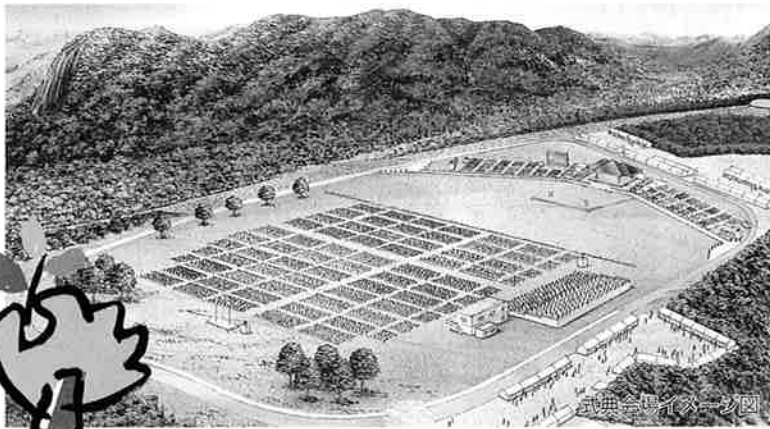
# 第五十三回全国植樹祭に向けて 整備進む式典会場 「遊学の森」有屋ゾーン

第五十三回全国植樹祭が金山町大字有屋地内において、平成十四年春に開催されますが、会場となる「遊学の森」有屋ゾーン

（浪漫的森）においては、広場の造成や関連する連絡道の整備に平成十一年度から着手し、開催に合わせて整備を進めています。

「遊学の森」は、「森と人が共生できるモデル地域の創造」を基本理念として、平成九年度に「基本構想」を策定し、第四の県民の森として整備を進めており、その中で有屋ゾーンの「浪漫的森」は、都市との交流の拠点となる中核的な地区として計画されています。

全国植樹祭では、有屋ゾーン「浪漫的森」の「ぶなのき広場」



を式典会場として、また、「どんぐり広場」、「とちのき広場」を県内外の招待者の植樹地として計画しており、全国植樹祭終了後

は天皇后両陛下のお手植えの木を中心に、記念の森として整備していく予定です。

現在、式典会場となる「ぶなのき広場」の芝張や修景木の移植はほぼ完了し、連絡道路についても下層路盤までの工事が完了しています。

今年度は、お野立所やトイレの建築工事、連絡道の舗装工事及び入口周辺の芝付け等を実施し、全国植樹祭会場としての整備を完了する予定です。

特に、両陛下にお座りいただくお野立所は一時的な仮施設ではなく、県産材による木造施設とし、「遊学の森」のあずまやとして将来にわたって活用していく計画です。

また、御歩道等に使用するウッドブロックや遊歩道のチップ材は現地での発生材を活用するなど資源の有効活用を図りなが

ら整備を進めています。

式典当日は、天皇后両陛下をはじめ全国からの招待者が集まり、全体で一万二千人の参加が見込まれています。

招待者席やサービス広場など会場の施設は、ほとんどが仮設となりますが、「山形県の全国植樹祭」として思い出深いものとなるよう、次の方針に基づき会場の設営を進めてまいります。

一、安全性を最優先にしながら、機能性を考慮した快適な会場づくり

二、会場内の施設や「べにばな」、「さくらんぼ」の飾花等による「山形県らしさ」のアピール

三、県産材や間伐材を活用した施設整備による、木材の良さをばらしさのアピール

四、リース材やリサイクル材等の利用による環境への配慮

〔全国植樹祭推進事務局〕

第五十三回全国植樹祭記念行事  
**全国林業者大会山形県実行委員会が設立される**

平成十四年春に金山町で実施される第五十三回全国植樹祭の記念行事として開催される全国林業者大会―第三十一回全国林業後継者大会―に向けて、大会の円滑な運営と成功を期すために、山形県実行委員会が四月二十四日に設立されました。

この実行委員会は、山形県森林協会会長理事を会長とし、県、真室川町、東北森林管理局、林業グループ、林業士、緑を育てる女性の会、森林組合関係の代表者を委員として十一名で構成されています。

本大会は、全国の林業者や森林・林業に携わっている人々が一堂に会し、林業活動・実践の情報交換や相互交流を深め、創

造性豊かな農山村の担い手としての自覚を新たにするほか、二十一世紀の新たな森林づくりの展開を醸成するために本県真室川町を会場として開催されるものです。

設立総会後の第一回総会で決定された基本計画は次のとおりとなっています。



実行委員会設立総会及び第1回総会(山形市)

◇期 日

平成十四年五月 日(土)

全国植樹祭の前日

◇会 場

真室川町中央公民館

◇主 催

県、山形県森林協会、山形県林業グループ連絡協議会、全国林業研究グループ連絡協議会

◇後 援 (予定)

林野庁、真室川町、他林業関係団体等

◇参加者 (見込み)

六〇〇人(うち県外二〇〇人)

◇内 容

- ・ 開会式典
- ・ 記念講演
- ・ 森林づくり実践報告
- ・ 大会宣言等
- ・ 交歓の夕べ

◇関連事業

- ・ 山形県の森林・林業紹介コーナーの設置



昨年開催された大会 (大分県)

・ 真室川町他による「山形まるごと市」(地場産品の展示販売等)の出店等

今後事務局では、全国から集まった方々が参加して良かったと思われるような、内容、展示もてなしなどの実施計画を策定することとしておりますので、関係の皆様のお協力をお願いいたします。

なお、事務局は山形県森林協会に設置されております。

〔県森林課〕

活動の少年報告  
緑の少年団



ふもとの子 いきいき

緑体験学習

村山市立富本小学校緑の少年団

五年 藤田真樹

富本小学校は、葉山のふもと  
の自然の豊かなところにあり、  
学校のまわりにも樹木がたくさ  
んあります。この豊かな自然を  
守るためにいろいろ活動をし  
ています。ぼくたちの学校には、  
児童委員会の中にグリーン委員  
会があります。ぼくは今年もグ  
リーン委員会に入りました。グ  
リーン委員会や緑の少年団の活  
動を紹介します。

春、緑の少年団の入団式を行  
います。四年生が新しく入団す  
るので緑のぼうしとスカーフを  
手渡し、ちかいの言葉をいま  
す。そして、全員で緑の少年団  
の歌を歌います。緑のぼうしを  
かぶると少年団の仲間入りでき  
るので、ちよつとうれしいです。  
五月に入ると花だんつくりと



5月 花のプランターづくり

グリーン委員会では里いもさい  
ばいを毎年続けています。当番  
を決めて水かけをして、活動の

学校の畑へいろんな野菜を植え  
ます。各学年で話し合っている  
んな作物をさいばいします。去  
年ぼくたちはじゃがいもを育て  
ました。収穫して楽しくじゃが  
いも料理にチャレンジしました。

日には、草取りもします。六月、  
梅雨の時期に入り、草が多くな  
ったので観察道路の掃除もしま  
した。五年生は、しいたけ栽培  
や稲作も行っています。おとう  
さんやおかあさんたちの協力を  
得てお米づくりを進めます。か  
かしを作ったり収穫祭をしまし  
た。六年生は、伝統芸能の大黒  
舞を継承し、地域の様々な行事  
に参加しています。

春と秋には、通学路のゴミを  
拾ってきれいにするために、全  
校生通学班ごとに「クリーン作  
戦」を行っています。ごみの落  
ちている場所や種類を調べて発  
表会も計画しています。

秋、育ててきた里いもの収穫  
をし、掘りあげた里いものを農協  
の里いもコンテストに出品しま  
す。そして里いもさいばいの体  
験発表もあります。市内の小  
学校の代表が集まって里いもさい  
ばいの様子や体験したことや感  
想を発表します。去年は初めて  
の参加で、とてもドキドキして



11月 児童会主催、ネイチャーゲーム

緊張しました。今年は、もっと  
大きい里いもを育てたいと思  
います。

落ち葉の季節になると「ネイ  
チャーゲーム」があります。こ  
のゲームは、たてわり班のグル  
ープで学校周辺の樹木や葉っぱ  
を使って楽しい絵を作ったり、  
クイズをとりたりします。一年  
生から六年生までいっしょにな  
って楽しめます。

ぼくは、これからも富本の豊  
かな自然を大切にしていきたい  
なと思います。



森林の楽しみ  
早春のブナ林から  
森林インストラクター  
伊藤 文 安

ブナ林の地上3mの空中散歩をしています。朝の静かな空気の中、リスが音もなく、ぼんぼんと飛んでいきます。もう二か月もすれば、足元の残雪が消え、柔らかな地面が現れて、いま残雪の上を歩いている自分をそんな風に想像して楽しくなってきました。四月二十二日、月山の県立博物館ネイチャーセンター周囲のブナ林に早朝散策に来た時のことです。白い樹肌のブナの木々は、芽吹きにはまだまだ硬く、山の早春の兆しは、少し低いところで残雪からのびた柳が柔らかな黄緑色の花と新芽をつけているくらいです。しかし、木立の中を吹いてくる風は、山の朝なのにぴりつとした寒さを感じられず、残雪の上を歩いている私には心地よく、柔らかな春の気配を感じさせてくれます。

あと二週間くらいすると人気スポットのリユウキンカ広場に、残雪にぽっかり開いた湧水の流れにミズバショウと一緒に黄色い花が一面に咲いて、たくさんの待ちわびた人たちが訪れるでしょう。このたよりが載る六月上旬頃には、所々に残雪が残りながらも、ブナの新緑は最高に美しくなり、林の中の小さな池の中では黒サンショウウオが何十匹と折り重なり産卵しているシーンが見られる頃かもしれません。月山自然博物館のネイチャートレイルは、東北の森を代表する原生的ブナ林を、気軽に体験でき楽しめる所です。

**森林インストラクターとして**  
二十歳の頃に山登りが好きになり、溪流釣りに夢中になり、そして自然の中で汗をかき山仕事(林業)に興味を持つように

なりました。趣味としての体験的なものですが、山仕事で汗を流している、生活に結びつく汗という、スポーツの汗とはまた違う心地良さを感じて、惹かれるものがあります。仕事は、デスクワークと対人関係に追われている毎日ですが、生活の一部に山、森林、自然と関わる部分を大切にしていきたいと思っています。趣味は「きこり」を目指して。そんな自分の経験から、自然と触れてみたい、森林を楽しみたいという人の、入門の案内ができたらと思います、森林インストラクター会に入会したい。ぼちぼちやっていきたいと思っております。

**自主事業**

「秋の森を味わおう」より

昨年十月一日、山形市少年自然の家キャンプ場で、親子三十数人が参加しました。森林探索とともに、森からたぎぎを集め、たき火でお菓子作りをしました。一昔前の生活体験を通し、人間の暮らしとの関わりとして森林を見つめることをねらいとした

内容です。今の子供達には、斧で薪を割るという初体験は緊張感と共に強い興味を持ったようでした。煙に涙しながら焼き上げた竹クッキーとバームクーヘンを味わう親子の顔は、自然の中で同じ体験を共有できた喜びで満足しているように感じました。今年も秋に森林インストラクター協議会ならではの自主事業を検討しておりますので、楽しみにしてください。



「秋の森を味わおう」より 竹クッキーとバームクーヘン作り



# 山に遊ぶ

— 森林オーナーの楽しみ —

長井市 鈴木 晃

小学校三・四年生の頃、私は現在の白鷹町滝野で生活してました。緑濃く、空気の澄んだ静かな山里でした。ホタル・カブト虫それに鬼ヤンマなど、ふんだんに目にできる所でした。子ども達は川に遊び、山にもぐり、雪とたわむれていたものです。いわば、子ども達は自然の一部として遊んでいたのです。

そうした子ども達の語らいの中で、私の脳裏に深く刻み込まれ、半世紀が経過した現在も記憶している会話があります。それは「Aさんの家は山持ちで、一里先の荒砥まで、他人の土地を踏まないで行けるんだと」、そして、「何言ってるんだ、Bさんの家では三里先の長井まで行けん

幸いにも当選となり、なんと四百円の収入印紙が貼付された「森林オーナー制度契約書」が取り交わされ、めでたく森林オーナーになれたのでした。

借り受けた「私の山」の林相は小檜を中心にした雑木林で、栗・もみじ・朴・つつじ・水木・青木などが生育しています。それに以前、杉苗が植えられたらしく、直線上に生育しているものの、下草刈りをしてもらえなかつたらしく、全部が2m前後の幼木のままです。

ところで、私の山まで自宅から約十七km、車で三十分ほど、丁度よい距離です。週に二〜三回通う内に、私の山とその周辺の様子がわかってきました。

大袈裟に言うとうと、この山は私にとつて宝の山でした。つまり、森林浴やバードウォッチングで自然に親しみながら、腐葉土を採取して趣味の園芸を楽しむ。そして山桜が咲き始める頃「たちの芽」、続いてぜんまい・わらび、そしてうるい、ふぎ、秋になると、あけびと赤きのこ。実に多彩な山の幸を楽しむことができるのです。まさしく宝の山なのです。

この十アールの山から何か利益を上げなければならぬというものでないため、実に気楽に山そのものを楽しんでいます。そろそろわらびのシーズン到来。何だか、気がもめてきます。

**現地ルポ**

**木に新しい生命を吹き込む**

—寺崎バイオリン工房—

東根市猪野沢、緑が美しいこの地区に寺崎さんのバイオリン工房があります。中に入ると、かななやのみ、のこぎりなどの道具をはじめ、楽器の内型などが工房いっぱい並べられています。寺崎さんは、この工房でバイオリンやビオラの製作、弦楽器の修理を行うクラフツマンです。

一度の人生好きなことをやりたいと、木工好きが高じて、勤めていた半導体の工場を辞め、長野県での修業を経て、二年前に猪野沢に移りこの工房を開きました。楽器づくりは、まず、環境が第一と語る寺崎さん。静かな森に囲まれたすばらしい環境に魅せられて、この猪野沢を

工房の場所として選びました。

バイオリン、ビオラは大きく分けて表板、裏板、横板、糸巻き部に分かれます。材料は裏板や横板、糸巻き部はカエデ類、表板はモミ類などを使いますが、音色の柔らかさから、イタリアやドイツ、フランス産の材料を使用しています。



完成したバイオリンを

手にする寺崎さん

楽器づくりでは、わずかな削り加減が音色に大きく影響します。そのため、かななをはじめとする細かな調整に必要な道具の多くは手作りです。また、木の性質はひとつひとつ異なるため、材料の音の響き具合を確認しながら行う削り出しは、まさに究極の技と言えます。

バイオリンやビオラは、出来上がってから百年ほど経った頃が、木やニスがかれて最も良い音色を出すということ。特にニスについては、材料の配合が良い音色を左右することから寺崎さんは自分の作品に合ったニスの配合を検討しています。

「時代を越えて残る楽器づくり」これが寺崎さんの楽器づくりのコンセプトです。今のところ一台の製作に二か月から三か月かかり、年間四台程度の製作台数ですが、これから本格的に



道具や内型が並ぶ工房

制作活動に取り組む予定です。

森で育った木が新たな命を吹き込まれ、美しいバイオリンやビオラとなり、何百年も美しい音色を奏でる楽器づくりは、まさにメルヘンの世界でもあります。

**寺崎バイオリン工房**

☎〇二三七一

四四一九八九

〔村山総合支庁産業経済部  
北村山森林整備課〕

ホームページ

<http://plaza25.mbn.or.jp/~terasaki/>

県森林研究研修センターからのお知らせ

# 商品性のあるきのこ生産に向けて

## 柄のふくらんだナメコ

本県は全国第二位のナメコの生産地ですが、この産地ブランドを維持するためにはつねに商品性のあるナメコ作り、県外産との差別化を図る必要があります。このためセンターでは品種開発と栽培技術の両面から試験研究に取り組んでいます。

今回は品種開発のなから、商品性については未知数ですが、柄のふくらんだナメコ”について紹介します。

### ◆交配が必要な系統

その後、空調施設を整備した機会に再度このナメコを菌床で栽培してみたところ、きのこが発生するまでの培養日数が長い系統であることがわかりました。

このため培養日数の短い系統と、バイテクを利用した交配により新系統を選抜し、その栽培化を検討しています。

### ◆バイテク利用の交配

この交配は自然界では起こり得ない方法で、二核の菌糸の細胞壁を特殊な酵素で溶かし、一

核のプロトプラスト(裸の細胞)を作り、これから再生させた一核菌糸を利用するものです。この方法の有利な点は胞子からの交配と違い、再生した一核菌糸はクローン(遺伝的に同一)として扱え、親の形質がそのまま遺伝されることです。

### ◆交配したナメコ

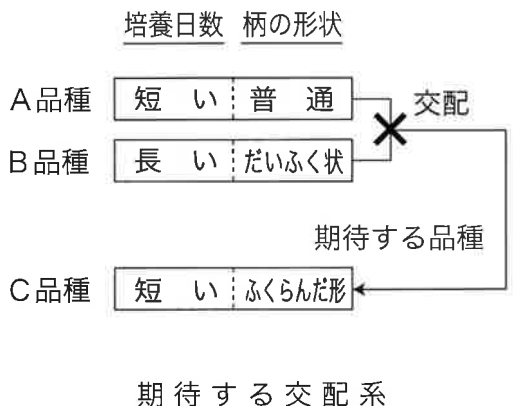
この方法で一〇数種の系統を作りました。栽培特性を調べた結果、交配種は両親の培養特性や形質を少しずつ備えています。

なかには期待したとおり、培養日数が短く、柄のふくらんだナメコ(写真)も得られました。このナメコは全体的にヌメリが少なく、柄は柔らかいので柄も食べることができます。歯ごたえはありませんが、ニュータイプ(写真)のナメコとして料理に幅が生まれるものと考えられます。

### ◆今後の方向

今後は、これらの系統の栽培試験を行い、栽培に適する系統を選抜したいと考えています。

◆原種は野生のナメコ  
十数年前、野生のきのこの採取中に、柄が寸胴で、だいふく状にふくらんだナメコ”を見つめました。普通ナメコの柄の太さは上下同大の約五〜一〇ミリほどですが、このナメコは太い



柄のふくらんだナメコ



# 平成十三年一月発生 雪害状況と復旧対策



平成十三年一月の大雪による

(別表参照)。

農林業関係被害は、四月十三日現在で果樹やハウスを中心に六十四億円を上回る被害となりました。そのうち森林被害については、五月十八日現在で被害面積三六三ヘクタール、被害金額約七千五百万円となっています

今回の雪害は地域的な偏りがあり、最上地区の二四三ヘクタールを最高に、東南村山地区、東南置賜地区と続いています。

被害規模としては、平成七年十月から平成八年一月発生の雪害(被害面積一七二三ヘクタール)

ル、復旧事業費三億三千四百万円)と比較すると小規模でした。これら被害に対する復旧対策として、

① 森林国営保険等の加入森林については、森林所有者からの被害報告をもとに、その損害補償を急ぎます。

② 一般の被害森林については、被害の形態が写真のような幹折れが多くを占めており、間伐実施の実施により処理がなされるため、現行の国庫補助事業及び間伐実施推進事業(県単総合交付金事業)を有効に活用して、計画的に進めてまいります。

③ 保安林については、治山事業の実施により計画的に進めてまいります。

④ マツ林については、マツクイムシの温床とならないよう防除対策を実施してまいります。

県では、これらの対策により、早期復旧を図ってまいりますので、関係各位の御支援御協力をよろしく願います。

(森林課森林整備室)

平成13年1月発生雪害状況

| 公 所         | 被害区域面積(ha) | 被害金額(千円) | 備 考    |       |
|-------------|------------|----------|--------|-------|
| 村 山<br>総合支庁 | 東南村山       | 41.8     | 17,638 | スギ    |
|             | 西村山        | 34.2     | 5,135  | スギ    |
|             | 北村山        | 7.0      | 1,306  | スギ    |
| 最上総合支庁      | 計          | 83.0     | 24,079 |       |
| 置 賜<br>総合支庁 | 東南置賜       | 243.0    | 39,886 | スギ    |
|             | 西置賜        | 35.0     | 10,312 | スギ・マツ |
|             | 計          | 1.0      | 400    | スギ    |
| 庄内総合支庁      | 計          | 36.0     | 10,712 |       |
| 庄内総合支庁      | 計          | 0.5      | 200    | マツ    |
| 計           | 362.5      | 74,877   |        |       |

注 被害額については、サンプリング調査による被害率に基づく推定額である。



山形県の名水・湧水⑳

# 桂清水

白鷹町大字中山

案内図



八家坂から登って県道を渡り、向かいの道を200mほど登って行くと、八森山の北裾にあたる道の左側に「桂清水」がある。

以前は立派な桂の木が立っていたのであるが、現在では高さ2m、直径2m、幹まわり6mほどの古株が残っているだけである。

水はその株の根元から湧出しており、両側には水神様が祀られており、飲料水や農業用水として豊かな水をたたえてきたこの清水は、多くの人々の信仰を集めていた。(山形県森林協会)

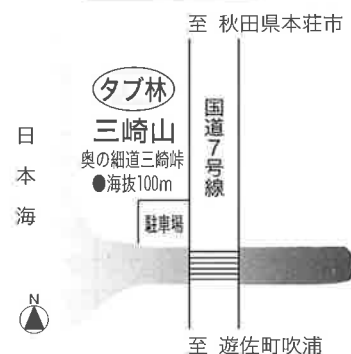


山形県の古木・名木㉑

# 吹浦三崎山のタブ林

遊佐町大字吹浦

案内図



日本海岸における山形県の最北端で、秋田県との境海拔58.8mの三崎山の一帯、2haほどの地域を占める「タブノキ」を主とする照葉樹林である。

タブノキは高さおよそ20mで、日本海岸を青森県の深浦まで北上分布しているが、照葉樹林として自然のまま残っているのは飛鳥を除いてここが最北端の地点と認められている。昭和33年3月4日山形県指定天然記念物に指定されている。(山形県森林協会)

21世紀の緑を美しく、  
安らぎと輝きの森林と水を求めて



社団  
法人

**山形県林業コンサルタンツ**

理事長 菅原 六郎

山形市松栄一丁目5番41号 TEL (023)647-1800  
FAX (023)647-1801

**環境を守ろう**

災害に強い県土を  
良質な水の安定供給を  
緑豊かな環境づくりを

**森林を育てよう**

山村の生活環境の整備を  
森林の恵みの循環利用を

**山形県森林土木建設業協会**

山形市桜町2-35(林業会館内)  
電話(023)632-3893 FAX(023)632-5454

広げよう 緑をはぐくむ輪

財団  
法人

**山形県みどり推進機構**

理事長 細野 武司

〒990-2363 山形市大字長谷堂字馬場2265  
TEL (023)688-6633  
FAX (023)688-6634

**信頼の森林づくり**

地域に根ざした豊かな森林をつくります  
いろいろな森林体験ができます

**財団法人 山形県林業公社**

山形市緑町一丁目9番30号  
TEL 023-623-3505





活かしてみましょ  
**夏のボーナス**は  
農林中金へ!

確定利回りの1年貯蓄

**ワリノ** **投資信託**



どなたでもお気軽に

**農林中央金庫山形事務所**  
〒990-0042 山形市七日町3-1-11  
☎(023) 641-6271

—全国食用きのこ種菌協会会員—  
〒999-7757  
山形県東田川郡余目町払田字村東17-2

**株式会社 河村式種菌研究所**

お問い合わせは：電 話 0234(42)1122(代)  
F A X 0234(42)1124  
青森県営業所：青森県三戸町同心町 電話 0179(23)3582

**きのこ** 作りなら。

◎形質を誇る！  
○しいたけ・なめこ

ひらたけ・まいたけ・ぶなほりたけ  
くりたけ・たもぎたけ・むきたけ  
その他きのこ種菌



| 素     | 樹材種       |            | 材長     | 品等      | 1m <sup>3</sup> 当り価格 | 前月比較                 |      |
|-------|-----------|------------|--------|---------|----------------------|----------------------|------|
|       | スギ小丸太     | 3.65~4.00m |        | 込       | 12,300円              | +600                 |      |
| スギ中丸太 | //        |            | //     | 16,400円 | +300                 |                      |      |
| スギ大丸太 | //        |            | //     | 19,100円 | -200                 |                      |      |
| 材     | 米マツ中丸太    | 6.0m~      |        | 普通材     | 19,300円              | -100                 |      |
|       | 米マツ大丸太    | //         |        | //      | 22,900円              | -300                 |      |
|       | 北洋アカマツ中丸太 | 3.8~       |        | //      | 17,300円              | -100                 |      |
| 製品    | 樹材種       | 厚          | 幅      | 長       | 品等                   | 1m <sup>3</sup> 当り価格 | 前月比較 |
|       | スギ柱       | 10.5cm     | 10.5cm | 3.00m   | 特等                   | 60,600円              | ± 0  |
|       | 米マツ柱      | 10.5cm     | 10.5cm | 4.00m   | //                   | 58,400円              | -200 |

**木材市況**

(五月一日現在)

印刷所 渡辺活版所 定価 一部二〇円

森林やまがた 6月号 平成13年6月1日発行 通巻第51号

編集 山形県森林協会 山形県  
発行 山形県森林協会  
〒990-0045 山形市桜町2-35 林業会館内  
TEL 023-631-6566 023-622-8823  
FAX 023-631-6573